

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で92cells/ml、シャットネラ属が最高で270cells/ml確認されました。

湾中央部では、シャットネラ属が漁業被害が想定される密度を超えていました。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
鳴無	0.5m	0	58
	2m	0	0
中学校前	0.5m	0	0
	2m	0	100
	4m	92	95
目ノクソ	1m	0	2
	2m	0	2
	4m	30	144
光松	0.5m	0	11
	2m	0	270
	4m	0	89
大鹿	1m	0	94
	2m	0	154
	4m	17	55

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類のへい死)

